

第1章 環境施策の実施計画と実施状況

環境基本計画では、14の基本目標と29の個別目標が定められています。
 それぞれの目標における事業計画及び数値目標、参考事項等の実施状況をまとめました。
 なお、市町村合併に伴い、数値目標等新市の規模に合わせた数値に変更し、計画内容も見直しを実施しました。

基本目標1：自然がつくる空気・水・土を守ろう

(1) 個別目標1-1：大気汚染の監視と防止対策を進めよう

《平成18年度以降の事業計画》

事業内容		平成18年度以降の事業計画	担当課
1-1-1	環境測定の実施 (大気)	・市設置2か所、県設置1か所の計3か所の測定局で窒素酸化物(NOx)、いおう酸化物(SO2)、浮遊粒子状物質(SPM)光化学オキシダント(Ox)の24時間測定を実施します。	環境課
1-1-2	特定工場等測定結果の報告要請	・市内の特定工場等に対して、大気汚染防止対策の徹底を要請するとともに、排気ガス等自主測定結果の報告を求め、測定結果の確認及び必要な指導を行います。	環境課
1-1-3	アイドリングストップの推進	・市役所自らがアイドリングストップを実践し、市民や事業者にも啓発します。	環境課
1-1-4	低公害車の導入	・市役所自らが低公害車の導入を図ります。	契約管財課

〇〇 平成18年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成18年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
1-1-1	環境測定の実施 (大気)	・市内3測定局(市庁舎・上金・柳町)にて窒素酸化物、いおう酸化物、浮遊粒子状物質、光化学オキシダントの24時間測定を実施しました。(結果は第4編第1章1をご覧ください。)	環境課
1-1-2	特定工場等測定結果の報告要請	・平成18年12月に市内35の特定工場等に対して、大気汚染防止対策の徹底及び自主測定結果の報告を要請し、必要により指導を行いました。	環境課
1-1-3	アイドリングストップの推進	・環境省で推進しているチーム・マイナス6%に参加し、ホームページ等でアイドリングストップを呼びかけました。	環境課
1-1-4	低公害車の導入	・平成18年度は老朽化した公用車の代替として平成17年基準排気ガス50%低減レベルを満たす軽自動車を6台購入しました。	契約管財課

∞∞ ≪ 参考事項等 ≫ ∞∞

環境指標	環境基準等	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
○大気環境の保全				
・二酸化いおう環境基準達成状況（市庁舎測定局）				
1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。	環境基準の達成状況	達成	達成	達成
	日平均値の年間 2%除外値	0.015ppm	0.018ppm	0.021ppm
	1 日平均値が 0.04ppm を超えた日が 2 日以上連続の有無	無	無	無
・二酸化窒素環境基準達成状況（上金測定局）				
1 時間値の 1 日平均値が、0.04ppm～0.06ppm までのゾーン内、またはそれ以下であること。	環境基準の達成状況	達成	達成	達成
	1 日平均値の 98%値	0.028ppm	0.028ppm	0.028ppm
・光化学オキシダント緊急時発令件数				
1 時間値が、0.06ppm 以下であること。	環境基準の達成状況	未達成	未達成	未達成
	警報（0.4ppm 以上）	なし	なし	なし
	注意報（0.12ppm 以上）	1 回	なし	なし
	予報（0.1ppm 以上）	2 回	1 回	なし
・浮遊粒子状物質環境基準達成状況（市庁舎測定局）				
1 時間値の 1 日平均値が、0.10mg/m ³ 以下であり、かつ 1 時間値が 0.20mg/m ³ 以下であること。	環境基準の達成状況	達成	達成	達成
	日平均値の年間 2%除外値	0.050mg/m ³	0.055mg/m ³	0.062mg/m ³
	1 日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日が 2 日以上連続の有無	無	無	無
○事業所への大気汚染防止の協力要請（文書発送）				
		1 回/年	1 回/年	1 回/年

(2) 個別目標 1 - 2 : 水質汚濁の監視と水質改善対策を進めよう

≪平成 18 年度以降の事業計画≫

事業内容		平成 18 年度以降の事業計画	担当課
1-2-1	し尿処理収集	・し尿等の計画的な収集、し尿、浄化槽汚泥等の適正な処理を実施し、合わせて衛生センターの安定的な運営を目指します。	衛生センター 恵北衛生センター
1-2-2	公共下水道事業	・下水道に接続可能となった地域については、速やかに宅内の水洗化を図り、河川への汚濁負荷が低減するように啓発します。 ・公共下水道の供用地域の拡大を図ります。	下水道課
1-2-3	特定環境保全公共下水道事業	・下水道に接続可能となった地域については、速やかに宅内の水洗化を図り、河川への汚濁負荷が低減するように啓発します。	下水道課
1-2-4	農業集落排水事業	・下水道に接続可能となった地域については、速やかに宅内の水洗化を図り、河川への汚濁負荷が低減するように啓発します。	下水道課

1-2-5	合併処理浄化槽設置整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道区域外については、合併処理浄化槽の普及を促進します。 ・公共下水道区域内であっても、下水道建設の事業効率が著しくコスト高の場合は、市単独補助でも浄化槽設置を推進します。 	下水道課
1-2-6	環境測定の実施 (水質)	<ul style="list-style-type: none"> ・18河川20地点での水質調査を実施します。(pH、DO、BOD、SS、大腸菌群数、他) ・根の上湖の湖沼水質検査を実施します。(pH、DO、COD、SS、大腸菌群数、T-P、T-N) 	環境課
1-2-7	特定工場等測定結果の報告要請	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の特定工場等に対して、水質汚濁防止対策の徹底を要請し、排水水自主測定結果の報告を求め、確認及び指導を行います。 	環境課

〇〇 平成18年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成18年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
1-2-1	し尿処理収集	<ul style="list-style-type: none"> ・経費削減を図り、老朽化している当衛生センターの安全で安定な稼働を図るため、定期的に整備・点検を行い、受益者市民の生活確保に努めました。 ・し尿処理2施設の処理量、処理形態を見直し、恵北衛生センターの余剰処理能力を有効活用し、両施設の安定稼働及び延命化を図りました。 	衛生センター 恵北衛生センター
1-2-2	公共下水道事業	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道に接続可能となった地域について、河川への汚濁負荷が低減するよう宅内の水洗化を図るよう啓発しました。 ・公共下水道の共用地域の拡大を図りました。 ⇒平成18年度の水洗化率 約90%	下水道課
1-2-3	特定環境保全公共下水道事業	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道に接続可能となった地域について、河川への汚濁負荷が低減するよう宅内の水洗化を図るよう啓発しました。 ⇒平成18年度の水洗化率 落合・苗木地区 約69% 坂下・付知・福岡・蛭川・山口 約77%	下水道課
1-2-4	農業集落排水事業	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道に接続可能となった地域について、河川への汚濁負荷が低減するよう宅内の水洗化を図るよう啓発しました。 ⇒平成18年度の水洗化率 下洗井・坂本北部 82% 川上・加子母・福岡・蛭川 85% (阿木地区は管路布設整備を約78%実施)	下水道課
1-2-5	合併処理浄化槽設置整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道認可区域外について、合併処理浄化槽の普及を促進しました。 ・浄化槽設置者に補助金を交付しました。 ⇒平成18年度 中津地区 139基 坂下・付知・福岡・蛭川・山口地区 33基	下水道課
1-2-6	環境測定の実施 (水質)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内18河川(木曾川・中津川・付知川・落合川・阿木川・子野川・子淀川・四ツ目川・淀川・後田川・千旦林川・狩宿川・湯舟沢川・川上川・白川(加子母川)・外洞川・黒谷川・柏原川)20地点(木曾川と中津川は各2か所)での水質調査を実施しました。 ・根の上湖の湖沼水質検査を平成18年10月12日に実施しました。 ※この項目の詳細は第4編第1章2をご覧ください。	環境課
1-2-7	特定工場等測定結果の報告要請	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年12月に市内99の特定工場等に対して、水質汚濁防止対策の徹底及び自主測定結果の報告を要請し、必要により指導を行いました。 	環境課

《《《 数値目標等 》》》

環境指標	計画基準年 (平成 16 年度)	実績 (平成 18 年度)	計画 (平成 19 年度)	数値目標等 (平成 27 年度)
○水質汚濁負荷の削減				
・公共下水道の整備面積 (全体計画面積 1,210ha)	604.01 ha	661.95 ha	685.85 ha	942 ha
・特定環境保全公共下水道（落合・苗木）の整備面積 (全体計画面積 203ha)	140.17 ha	166.37 ha	173.0 ha	203 ha
・特定環境保全公共下水道（山口・坂下・付知・福岡・蛭川）の整備面積 (全体計画面積 444ha)	437 ha	439.05 ha	439.05 ha	444 ha
・農業集落排水事業（下洗井・坂本北部）の水洗化戸数 (計画面積 706ha)	619 戸	668 戸	688 戸	769 戸
・農業集落排水事業（川上・加子母・福岡・蛭川）の水洗化戸数 (計画面積 1197.3ha)	1,362 戸	1,481 戸	1,549 戸	1,597 戸
・農業集落排水事業（阿木：計画中）の水洗化戸数 (計画面積 171.4ha)	0 戸	0 戸	100 戸	376 戸
・合併処理浄化槽設置基数	2,835 基	3,147 基	3,200 基	3,700 基

「下水道などの地区別整備手法」

地区名	公共下水道	特定環境保全 公共下水道	農業集落 排水事業	合併処理 浄化槽
中津	●			●
坂本	●		●	●
落合	●（一部）	●		●
苗木		●		●
阿木			●	●
神坂				●
山口		●		●
坂下		●		●
川上			●	●
加子母			●	●
付知		●		●
福岡		●	●	●
蛭川		●	●	●

∞∞ ≪ 参考事項等 ≫ ∞∞

環境指標	環境基準等	平成 16 年度 (合併後)	平成 17 年度	平成 18 年度
○水域の水質保全				
・BOD環境 基準達成状 況	水域類型指定状況 木曽川上流(弁天橋) AA 木曽川中流(美恵橋) A 付知川(野外教育センター) A 阿木川上流(駅南橋) A 落合川(恵乃裾橋) A 中津川上流(中川橋) A 中津川下流(木曽川合流前) D 白川(加子母川) AA 川上川 A	環境基準達成 (環境基準水域類 型指定されている 7河川9地点)	環境基準達成 (環境基準水域類 型指定されてい る7河川9地点)	環境基準達成 (環境基準水域類 型指定されてい る7河川9地点)
・ジクロロメタン等健康項目達成状況		全項目環境基準達成	全項目環境基準達成	全項目環境基準達成
○水質汚濁の苦情件数		36件/年	42件/年	33件/年
○事業所への水質汚濁防止の協力要請(文書発送)		1回/年	1回/年	1回/年

「岐阜県の名水 50」のうち、市内にある指定か所

名水名	場所	説 明
こわしみず 強清水	神坂	恵那山系の標高 1,100m 地点に湧き出る冷たい清澄な水で、昔から東山道を往来する人々はこの水で喉を潤したといわれています。
りゅうじん 竜神の滝	川上	裏木曽の山々に涵養された水は川上川に集まり、幾多の滝をつくっています。竜蛇が棲むというこの滝は、日に7回色が変わるといいます。
ちご 乳子の池	加子母	昔、情け深い娘が捨子をこの池の水を飲ませて育てた古事からこの名があり、今でもこの水を飲むと乳が出るといわれています。
ふどうけいこくたきぐん 不動溪谷滝群	付知	趣の異なる滝が一群を成し、流れ落ちる水は山の緑を溶かしたように青く澄み渡り、周辺は森林浴の森日本 100 選に選ばれています。
付知川	福岡	水の青さと岩の青さが重なり、別名「青川」とも呼ばれ、アユ釣りや川遊びなどで地元をはじめ多くの人に親しまれています。

※ 平成 4 年岐阜県発行「岐阜県の名水」より

「ぎふ・ふるさとの水辺」(28か所)のうち、市内にある指定か所

水辺名	場所	説明
中津川市 ポケットパーク	中津	<p>中津川市ポケットパークは、中津川市役所の北隣にあり、中津川支流の黒沢川に沿って整備されています。</p> <p>この黒沢川の両岸には、河川水位との高低差の少ない遊歩道が整備され、また、川の水深も浅く、子どもやお年寄りにも安全で、大変親しみやすい水辺となっています。</p> <p>また、市の中心部に位置するため、季節を通じて多くの市民で賑わっています。</p> <p>特徴としては、清流の指標ともいわれる貴重な梅花藻(バイカモ)が生育しており、初夏には可憐な白い花が、清流に揺れながら咲き誇ります。</p>
よつめがわ 四ツ目川 子ども専用釣り場	中津	<p>四ツ目川子ども専用釣り場は、中津川市役所の北北東約1kmにあり、中津川支流の四ツ目川に沿った数百mの範囲です。</p> <p>この川には、都市河川にもかかわらず、アユやアマゴが生息しており、川への関心を持ってもらうため、子ども向けの釣り教室が毎年開催されています。</p> <p>地域住民による清掃、草刈なども積極的に行われています。</p> <p>また、市の中心部にあり、川の両岸に整備された遊歩道へ降りる階段も数多く設置され、釣り以外にも、犬の散歩など、多くの市民に利用されています。</p>
つけちきょう しもうれ 付知峡(下浦地区)	付知	<p>付知峡は、付知川の上流部にあり、有名な不動滝を最上流部に持つ不動溪谷との合流地点です。周辺は裏木曾県立自然公園で、キャンプ場が点在し、夏には多くの利用客で賑わっています。</p> <p>また、付知川は、県内でも有数のアユの漁場で、他にもアマゴ、イワナ、アジメドジョウなど、多種類の魚類が生息しています。</p> <p>キャンプ場を管理している観光協会は、これらの美しい自然を守るために、清掃活動を積極的に行い、また、危険防止のために、救命用具も整備しています。</p>
かしもがわ おとめけいこく 加子母川 乙女溪谷	加子母	<p>乙女溪谷は、加子母川の最上流部にあり、周辺は、裏木曾県立自然公園です。</p> <p>周辺のキャンプ場は、自然景観に配慮して木を生かした造りとなっており、源流域の装いを残しています。また、川岸からの勾配も緩やかで、子どもやお年寄りでも、安全に川に入ることができます。</p> <p>この地域は、上流に民家や工場などがいないことから、水質は良好で、アマゴ、イワナ、アジメドジョウ、カジカなどの魚類や、水生昆虫も数多く生息し、四季を通じて自然を大いに満喫することができます。</p>
かべさわがわ がっこう 壁沢川 水辺の楽校	川上	<p>水辺の楽校(みずべのがっこう)は、川上小学校の北側を流れる壁沢川にあります。</p> <p>カワゲラウォッチングや魚道周辺での観察など直接川の中で活動を行い、様々な視点から水生生物とふれあえる場を目指しています。また、ホテルの幼虫の餌となるカワニナの養殖を行い、壁沢川がホテルの飛び交う川になるよう活動しています。壁沢川には、モリアオガエル、アマゴ、アブラハヤ、オニヤンマ、ナツアカネなど多くの生き物が生息しており、豊かな自然を生かした素晴らしい環境教育の場が用意されています。</p>
わだがわ ながとろ 和田川 長瀨地区	蛭川	<p>和田川は、蛭川地区から木曾川に向けて流れる清流です。</p> <p>中でも長瀨地区は、毎年多くのホテルが観察される場所であり、毎年蛭川観光協会が案内している「ほたるバス巡り」でもお薦めのスポットとして紹介されています。</p> <p>自然が創り出した芸術、岩が丸く削られて穴の開いた甌穴<small>おうけつ</small>も見られます。近くの岸边には、ヒトツバタゴが自生しており、国指定天然記念物に指定されています。</p> <p>ホテルの保護・育成のために、地域住民と行政が一体となり、ホテルの保存飼育活動を行うとともに、川の清掃、草刈りを行い河川の美化に取り組んでいます。</p>

※ 平成18年岐阜県発行「ぎふ・ふるさとの水辺」より

(3) 個別目標 1 - 3 : 土壌汚染・地下水汚染の監視と防止対策を進めよう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容		平成 18 年度以降の事業計画	担当課
1-3-1	環境測定の実施 (水質)	<ul style="list-style-type: none"> ・強清水の大腸菌検査（4月～10月）を実施します。 ・トリクロロエチレン汚染井戸の水質検査を実施します。 ・県が指定する井戸の定点検査等を実施します。 	環境課
1-3-2	中津川射撃場土壌 浄化対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・中津川射撃場の鉛散弾による水質と土壌の汚染を防止するため、土壌対策事業を実施します。 ・採取した鉛散弾はリサイクルします。 	スポーツ課
1-3-3	環境保全型農業事 業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬使用量削減を目標とした、性フェロモン剤（主要害虫複数同時交信攪乱剤）及び果樹防虫栽培モデル展示ほ場に係る補助金を交付します。 	農業振興課

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
1-3-1	環境測定の実施 (水質)	<ul style="list-style-type: none"> ・強清水の水質検査を入山者の多い4月～10月に実施。（各月とも、大腸菌は不検出。なお、4月は飲料水50項目も併せて検査し、全て基準以内であった。） ・トリクロロエチレン汚染井戸については、8月に検査を実施。 <p>※以上の項目の詳細は、第4編第1章2をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県が指定する9か所の井戸について水質検査を実施しました。いずれも基準を超えるものではありませんでした。 	環境課
1-3-2	中津川射撃場 土壌浄化対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・場内の土砂を篩選別し分別処理した。 鉛/有価物として売却(2.6t) クレー/75 m³を産廃処理 ワッズ/11.9 m³を産廃処理 処理土/158.3 m³をコンクリート槽に密封保管 	スポーツ課
1-3-3	環境保全型農業事 業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・性フェロモン剤導入による減農薬防除取り組みに対する補助を実施し、1件交付した。 	農業振興課

∞∞《 参考事項等 》∞∞

参 考 内 容	平成 16 年度 (合併後)	平成 17 年度	平成 18 年度
○土壌汚染・地下水汚染の苦情件数	1 件/年	3 件/年	0 件/年
○地下水汚染の監視（県指定の井戸水調査：県市合同）			
<ul style="list-style-type: none"> ・VOC(揮発性有機化合物)重点調査の実施 ⇒揮発性有機化合物11項目が対象(平成17年以前はトリクロロエチレンのみ) 	1 箇所	2 箇所	6 箇所
<ul style="list-style-type: none"> ・メッシュ調査の実施（県と合同） ⇒地下水の水質汚濁に係る環境基準に定める26項目が対象 	3 箇所	2 箇所	3 箇所

基本目標 2：自然の音と香りを取り戻そう

(4) 個別目標 2-1：悪臭発生の監視と防止対策を進めよう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容		平成 18 年度以降の事業計画	担当課
2-1-1	特定工場等への立入検査の実施	市民からの悪臭苦情により、悪臭発生源の事業所への立入調査と指導を実施します。	環境課
2-1-2	野外焼却防止対策	小型焼却炉の指導と、野外焼却の防止を強化します。	ごみ減量推進室
2-1-3	バイオ技術の推進	生ごみの堆肥化と適正処理について推進します。	ごみ減量推進室
		畜産廃棄物の適性処理を推進します。	畜産振興課

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
2-1-1	特定工場等への立入検査の実施	・庁内関係課や、岐阜県、隣接自治体と連携し、悪臭発生源への立入り調査及び指導を実施しました。	環境課
2-1-2	野外焼却防止対策	・市広報に小型焼却炉の使用禁止・野外焼却の防止について 1 回掲載しました。 ・野外焼却現場での注意、指導を実施	ごみ減量推進室
2-1-3	バイオ技術の推進	・生ごみ堆肥化回収システムモデル事業を実施しました。 (落合雇用促進住宅・中山道こまちの会等) 年度末の参加世帯数 102 世帯 ・生ごみ堆肥化検討会議を 2 回実施しました。	ごみ減量推進室
		・坂下堆肥センター建設事業及び脱臭施設建設事業が平成 18 年 7 月に完了して堆肥処理を実施。 ・坂下堆肥センター二次発酵施設建設事業が完了。 ・各農家への堆肥舎建設事業を推進。 ・各農家への畜産環境の改善指導を実施。	畜産振興課

∞∞《 参考事項等 》∞∞

参 考 内 容	平成 16 年度 (合併後)	平成 17 年度	平成 18 年度
○悪臭の苦情件数	13 件/年	11 件/年	16 件/年

「かおり風景 100 選」 (環境省平成 13 年選定)

選定場所	場所	説 明
加子母の檜と ササユリ	加子母	東濃ヒノキとして知られる加子母にある施設はヒノキ材で作られており、地区全域でヒノキ材のかおりがします。また、林内の一部にササユリの自生地があり、ササユリのかおりが感じられます。

(5) 個別目標 2-2 : 騒音・振動の監視と防止対策を進めよう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容		平成 18 年度以降の事業計画	担当課
2-2-1	環境測定の実施 (騒音)	・環境騒音の測定を実施します。 ・一般地域 3 か所、道路に面する地域 1 か所の計 4 か所で測定予定。	環境課
2-2-2	中央自動車道防音壁の設置要望	・各地区からの要望に応じ、中央自動車道の防音壁の設置要望を中日本高速道路㈱に実施します。	環境課
2-2-3	特定工場等測定結果の報告要請	・市内の特定工場等に対して、騒音防止対策の徹底を要請し、騒音自主測定結果の報告を求め、確認及び指導を行います。	環境課
2-2-4	道路騒音の改善	・排水性舗装を採用することで、道路騒音の改善を実施します。	建設課

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
2-2-1	環境測定の実施 (騒音)	・環境騒音の測定を計 4 か所実施しました。 ○一般地域 3 か所：一色公園、大平クラブ、市役所 ○道路に面する地域 1 か所：国道 19 号線（落合 4 号区公会堂前） ※詳細は第 4 編第 1 章 3 をご覧ください。	環境課
2-2-2	中央自動車道防音壁の設置要望	・各地区からの要望に応じ、中央自動車道の防音壁の設置要望を中日本高速道路株式会社を実施しました。 ○多治見管理事務所管内分 1 か所 ○飯田管理事務所管内分 6 か所 ※詳細は第 4 編第 1 章 3 をご覧ください。	環境課
2-2-3	特定工場等測定結果の報告要請	・平成 18 年 12 月に市内 27 の特定工場等に対して、騒音防止対策の徹底及び自主測定結果の報告を要請し、必要により指導を行いました。	環境課
2-2-4	道路騒音の改善	・平成 18 年度については実施か所はありません。	建設課

∞∞《 参考事項等 》∞∞

参 考 内 容	平成 16 年度 (合併後)	平成 17 年度	平成 18 年度
○騒音の苦情件数	18 件/年	12 件/年	10 件/年
○振動の苦情件数	2 件/年	0 件/年	0 件/年

基本目標 3 : 人に迷惑をかけない環境にしよう

(6) 個別目標 3-1 : 環境マナーを高めよう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容		平成 18 年度以降の事業計画	担当課
3-1-1	ごみの分別マナーの徹底	・市民へのごみの分別マナーの徹底を啓発します。	ごみ減量推進室
3-1-2	庁舎周辺一斉清掃活動の実施	・市職員自ら環境マナーの向上を目指して、庁舎周辺の一斉清掃を毎月実施します。	環境課
3-1-3	ごみゼロ運動の実施	・毎年 5 月 30 日を「ごみゼロ」の日と位置づけ、市役所職員によるボランティア組織「かやの木ボランティア」(19 支部)による「ごみゼロ運動」を実施します。	ごみ減量推進室

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
3-1-1	ごみの分別マナーの徹底	・各地区等へ出前講座を 2 回実施しました。 ・広報誌にごみの分別に関する記事を 3 回掲載しました。	ごみ減量推進室
3-1-2	庁舎周辺一斉清掃活動の実施	・市職員自ら環境マナーの向上を目指して、市庁舎周辺の一斉清掃を昼休みや閉庁後に毎月 1 回実施しました。 ・平成 18 年度は可燃ごみ 28.2kg、不燃ごみ 9.6kg、リサイクル資源ごみ 1.3kg を回収しました。	環境課
3-1-3	ごみゼロ運動の実施	・市役所内ボランティア 19 団体により実施しました。参加人数 1,038 人、可燃ごみ 198 袋、不燃ごみ 93 袋、その他 7 袋のごみを回収しました。	ごみ減量推進室

基本目標 4 : 自然にやさしい新エネルギーを活用しよう

(7) 個別目標 4-1 : 省エネルギーを進めよう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容	平成 18 年度以降の事業計画	担当課
4-1-1 環境家計簿の啓発	・環境家計簿の啓発を実施します。	環境課

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容	平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
4-1-1 環境家計簿の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・環境家計簿を中津川市公式ホームページに掲載し、広く啓発を実施しています。 ・第 4 回環境フェスタ中津川にて環境家計簿を紹介、家計簿の配布を実施しました。 	環境課

∞∞ 《 参考事項等 》 ∞∞

※旧中津川市のみデータ

参 考 内 容	平成 16 年度 (合併前)	平成 17 年度	平成 18 年度
○市内における電力使用量 (家庭用・事業用)	459,763 千 kwh/年	679,138 千 kwh/年	692,689 千 kwh/年
○市内におけるオール電化住宅 ^(※) (家庭用・事業用)	167 軒 (累計 818 件)	288 軒 (累計 1,106 件)	399 軒 (累計 1,505 件)
○自動車保有台数	43,687 台	69,461 台	70,578 台

参考資料「中津川統計書(平成18年度)」より

(※) オール電化住宅とは、火を使う設備を電気の設備とした住宅。

(8) 個別目標 4-2 : 新エネルギー、自然エネルギーの活用を進めよう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容	平成 18 年度以降の事業計画	担当課
4-2-1 住宅用太陽光発電システム設置補助金の交付	・住宅用太陽光発電システム設置者に対して補助を実施します。(平成 18 年度で事業終了)	環境課
4-2-2 新エネルギービジョンの策定	・新エネルギービジョンを策定する。	環境課
4-2-3 交通安全施設設置事業	・太陽光等の新エネルギーを利用した自発光鋸を設置します。	建設課

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
4-2-1	住宅用太陽光発電システム設置補助金の交付	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅用太陽光発電システム設置者 84 件（計 303.39kw）に対して補助を実施しました。（旧市内 54 件・旧恵北地区 30 件） ・1 件につき、5 万円/kw、上限 50 万円として補助を実施しました。 	環境課
4-2-2	新エネルギービジョンの策定	<ul style="list-style-type: none"> ・市民による行政評価委員会での意見を踏まえながら、今後の方向性を検討中 ・新エネルギー自然エネルギーを活用した街づくりのために将来のビジョンを描く必要がある。 	環境課
4-2-3	交通安全施設設置事業	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光等の新エネルギーを利用した自発光鋳を、市道交差点に 4 基（大型自発光鋳う）設置しました。 	建設課

《《《 数値目標等 》》》

環境指標	計画基準年 (平成 16 年度)	実績 (平成 18 年度)	計画 (平成 19 年度)	数値目標等 (平成 27 年度)
○クリーンエネルギー設備設置世帯数（実績欄については太陽光発電システム市補助分のみ掲載）	160 件（累計） 603.01kw（累計）	334 件（累計） 1245.52kw（累計）	—	500 件（累計） 1,900kw（累計）
○自然エネルギー活用公共施設数	太陽光発電 6 件（累計）	太陽光発電 8 件（累計）	太陽光発電 9 件（累計）	10 件（累計）

∞∞《 参考事項等 》∞∞

○自然エネルギー等活用公共施設の内訳

太陽光発電	中津川公園テニスコート管理棟街灯、防災都市緑地公園（にぎわい広場）街灯、富士見台避難小屋、市立南小学校、福岡総合保健福祉センター、養護訓練センターつくしんぼ、自発光式誘導機 2 箇所（防災用／旧市街地及び馬籠宿付近）
太陽光・風力発電（ハイブリッド）	道の駅「花街道付知」街灯、道の駅「きりら坂下」街灯（設置は県）
廃棄物発電	環境センター廃棄物燃焼発電機
バイオマス（BDF）	中津川リサイクルセンターごみ収集車用廃食用油燃料

基本目標 5：限りある資源を大切にしよう

(9) 個別目標 5-1：ごみの減量化を進めよう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容		平成 18 年度以降の事業計画	担当課
5-1-1	生ごみ処理機・コンポスト設置補助金交付	・生ごみ処理機及びコンポストを購入時には設置補助金を交付します。	ごみ減量推進室
5-1-2	資源・リサイクルの徹底	・市民へのごみの分別マナーの徹底を啓発、リサイクルを推進します。	ごみ減量推進室
5-1-3	マイバッグキャンペーンの実施	・マイバッグを推進するため、キャンペーン運動を実施します。	ごみ減量推進室
5-1-4	二中クリーン作戦	・生徒会主催で家庭からアルミ缶を回収し、その収益で車椅子を購入し福祉施設へ寄付する	第二中学校
5-1-5	坂本中学校クリーンアップ大作戦	・地域清掃ボランティア精神の育成のため、全校生徒が、生徒会を主体として学級毎に別れて地域のゴミ拾い・清掃を実施します。	坂本中学校

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
5-1-1	生ごみ処理機・コンポスト設置補助金交付	・生ごみ処理機 5 6 基、堆肥化容器（コンポスト） 3 基を補助しました。	ごみ減量推進室
5-1-2	資源・リサイクルの徹底	・各地区等へ出前講座を 2 回実施しました。 ・市広報にごみの分別に関する記事を 3 回掲載しました。	ごみ減量推進室
5-1-3	マイバッグキャンペーンの実施	・10月5日に関係団体と街頭啓発活動を実施しました。 ・中津川環境フェスタにて、マイバッグのキャンペーンの広報を実施しました。	ごみ減量推進室
5-1-4	二中クリーン作戦	・生徒会主催で家庭からアルミ缶を回収し、その収益で車椅子を 2 台購入し福祉施設へ寄付しました。	第二中学校
5-1-5	坂本中学校クリーンアップ大作戦	・生徒会主催の取り組みとして、地域のごみ拾い・清掃を 2 回実施しました。（6/20・11/24）	坂本中学校

《《《 数値目標等 》》》

環境指標	計画基準年 (平成 16 年度)	実績 (平成 18 年度)	計画 (平成 19 年度)	数値目標等 (平成 27 年度)
○ごみの減量	24,365t/年	25,861t/年	25,343t/年	20%減量
○ごみの減量化・リサイクル化等に関する出前講座等開催数	16件/年	2件/年	5件/年	20件/年

(10) 個別目標 5 - 2 : 資源の再利用を活性化しよう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容	平成 18 年度以降の事業計画	担当課
5-2-1 集団資源回収奨励金の支給	・地域、学校 P T A、各種団体などで自主的に資源回収を計画し資源となるごみの回収が進むよう奨励します。	ごみ減量推進室
5-2-2 廃食油の回収及び燃料化の推進	・家庭で使う廃食油（天ぷら油）を回収し、代替燃料としてリサイクルします。	ごみ減量推進室
5-2-3 分別収集拠点施設整備及び回収	・各家庭の新聞、雑誌類、ダンボール、食品トレイ、牛乳パックの分別収集を推進するために、リサイクルボックスを設置します。	ごみ減量推進室
5-2-4 市街地リサイクルプラザの整備及び運用	・リサイクルの推進を図るため、街屋くるくる（リサイクルプラザ）を活用します。	ごみ減量推進室
5-2-5 資源ごみの回収の推進	・資源ごみ（ビン、カン、ペットボトルなど）を燃えるごみ、燃えないごみに混ぜないで、分別して資源となるごみとして排出するよう分別について啓発します。	ごみ減量推進室
5-2-6 グリーン購入の推進	・グリーン購入の推進を実施します。	ごみ減量推進室
5-2-7 集団資源回収の実施	・市内各小中学校生徒が、P T A・地区等の協力を得て資源回収を実施します。	幼稚園・保育園 小中学校等

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容	平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
5-2-1 集団資源回収奨励金の支給	・資源回収を行った団体に対して 1 k g あたり 5 円（環境センターへ回収依頼 3.5 円）の奨励金を交付しました。 回収量 4,454 t	ごみ減量推進室
5-2-2 廃食油の回収及び燃料化の推進	・中津西、東、南地区、坂本地区を対象として廃食用油（てんぷら油）の回収を実施しました。回収した油は、廃食用油燃料精製所（資源センター隣）にて精製し、資源ごみの収集車の代替燃料として使用しました。精製量 11,520L	ごみ減量推進室
5-2-3 分別収集拠点施設整備及び回収	・一色保育園、坂本保育園、坂下中学校、川上小学校、第 1 2 区の 5 か所にリサイクルボックスを設置しました。回収量 1,060 t	ごみ減量推進室
5-2-4 市街地リサイクルプラザの整備及び運用	・街屋くるくる（リサイクルプラザ）に業務委託し、リサイクルの推進を図りました。	ごみ減量推進室
5-2-5 資源ごみの回収の推進	・各地区等へ出前講座を 2 回実施しました。 ・市広報にごみの分別に関する記事を 3 回掲載しました。	ごみ減量推進室
5-2-6 グリーン購入の推進	・業務に使う消耗品等を購入する際、グリーン購入法対象品目を購入するようにしました。	ごみ減量推進室

5-2-7	集団資源回収の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・中津川幼稚園 (7/30・1/8) ・南小学校 (年2回) ・第二中学校 (年2回) ・苗木地区 (幼・小・中合同) (5/21・10/15・2/25) ・坂本中学校 (5/28・11/26) ・落合地区 (保・小・中合同) (5/28・11/19) ・阿木中学校 (年3回) ・神坂地区 (幼・小・中合同) (5/13・11/11) ・加子母地区 (幼・小・中合同) (4/29) ・川上地区 (保・小合同) (5/28・8/20・12/10・3/4) ・付知南小学校 (6/25) ・福岡田瀬地域 (保・小合同) (7・12月) 	幼稚園・保育園 小中学校等
-------	-----------	--	------------------

《《《 数値目標等 》》》

環境指標	計画基準年 (平成16年度)	実績 (平成18年度)	計画 (平成19年度)	数値目標等 (平成27年度)
○資源ごみ回収量 (カン・ビン・ペットボトル)	1,214 t/年	1,326 t/年	1,330 t/年	1,300 t/年
○リサイクルボックス設置数	25 か所 (累計)	42 か所 (累計)	47 か所 (累計)	60 か所 (累計)
○生ごみ処理機の世帯普及率 (コンポスト含む)	18.47% (累計)	19.19% (累計)	19.40% (累計)	20.00% (累計)
○集団資源回収量 (PTA等)	4,685 t/年	4,454 t/年	4,600 t/年	4,700 t/年

(11) 個別目標 5-3 : ごみの不法投棄や野外焼却行為を防止しよう

《平成18年度以降の事業計画》

事業内容		平成18年度以降の事業計画	担当課
5-3-1	不法投棄監視パトロールの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・県との合同パトロールを実施します。 ・地区別のパトロールを実施します。 ・不法投棄監視重点地域マップを作成します。 	ごみ減量推進室
5-3-2	野外焼却の行為者への指導の強化	・屋外焼却を実施している者に対しては、広報等の啓発と合わせて、通報のあった者には直接指導を行います。	ごみ減量推進室

○○ 平成18年度の実施状況 ○○

事業内容		平成18年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
5-3-1	不法投棄監視パトロールの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・県との合同ランド&スカイパトロールを実施しました。 ・職員による不法投棄要注意か所の随時パトロールを実施しました。(通年) ・民間委託し、不法投棄監視パトロールを実施しました。(12月～3月) 	ごみ減量推進室
5-3-2	野外焼却の行為者への指導の強化	・市民からの通報により、野外焼却の行為者への指導38回、市広報に小型焼却炉の使用禁止・野外焼却の防止についての掲載啓発1回を実施しました。	ごみ減量推進室

∞∞◀ 参考事項等 ▶∞∞

参 考 内 容	平成 16 年度 (合併後)	平成 17 年度	平成 18 年度
○不法投棄監視パトロール			
・監視パトロール (県合同)	2 回／年	2 回／年	2 回／年
・巡 回	通年実施	通年実施	通年実施

基本目標 6：森林や里山を守ろう

(12) 個別目標 6-1：森林を守ろう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容		平成 18 年度以降の事業計画	担当課
6-1-1	松くい虫被害木伐倒事業の推進	・松くい虫被害防止のために、被害木の伐倒駆除等を行います。	林業振興課
6-1-2	造林保育事業の推進	・市有林の森林整備を実施し、森林の持つ公益的機能を維持、増進します。	林業振興課
6-1-3	間伐補助金事業	・水源涵養等公益的機能の発揮に向けた森林整備を実施するため、民有林での間伐に対して補助金を交付します。 (平成 17 年度より間伐促進強化事業と統合しました。)	林業振興課

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
6-1-1	松くい虫被害木伐倒事業の推進	・松くい虫被害防止のために、100 m ³ の被害木に対して伐倒駆除を実施しました。	林業振興課
6-1-2	造林保育事業の推進	・市有林の整備を実施しました。(101ha)	林業振興課
6-1-3	間伐補助金事業	・水源かん養等、森林の持つ公益的機能の高度発揮のために行われた間伐に対して補助金を交付しました。(補助金交付間伐実施面積 551ha)	林業振興課

《《《 数値目標等 》》》

環 境 指 標	計画基準年 (平成 16 年度)	実 績 (平成 18 年度)	計 画 (平成 19 年度)	数値目標等 (平成 27 年度)
○森林整備施業面積 (主たる間伐も含む)	432.67ha/年	799.12ha/年	維持	維持

∞∞《 参考事項等 》∞∞

「森の巨人たち百選」(林野庁平成 12 年選定)

樹種・愛称	所在地	説 明
ヒノキ・神坂大檜	神坂	幹周 722cm、樹高 25m、推定樹齢 300 年以上

「森林浴の森 100 選」(林野庁昭和 61 年選定)

樹種・愛称	所在地	説 明
付知峡	付知	春夏秋冬、それぞれに美しい姿を見せる付知峡は「森林浴の森日本 100 選」に、また、中部圏五色川のうち唯一の青川と称される付知川は「岐阜の名水 50 選」に選ばれています。

(13) 個別目標 6-2 : 里山を守ろう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容		平成 18 年度以降の事業計画	担当課
6-2-1	里山の意識啓発事業	・市民や事業者の里山に対する意識啓発を行います。	林業振興課
6-2-2	里山の活用	・里山を環境教育の場として活用したり、イベント等が開催できるように整備します。	林業振興課

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
6-2-1	里山の意識啓発事業	・事業実施しませんでした。今後も実施予定はありません。	林業振興課
6-2-2	里山の活用	・事業実施しませんでした。今後も実施予定はありません。	林業振興課

(14) 個別目標 6-3 : 豊かな自然の風景を守ろう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容		平成 18 年度以降の事業計画	担当課
6-3-1	中津川らしい景観づくり計画策定	・平成 19 年 7 月に中津川市景観計画の告示及び景観条例の施行を行い、中津川市の特性である良好な自然環境や歴史・文化を活かした景観づくりを目指した制度の運用を開始します。	都市整備課

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
6-3-1	中津川らしい景観づくり計画策定	・地区懇話会、説明会及びパブリックコメント等を経て、景観計画策定委員会において中津川市景観計画（案）を作成し、市長に対して答申を行いました。	都市整備課

基本目標 7：生態系を守ろう

(15) 個別目標 7-1：生き物たちの生活を守ろう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容		平成 18 年度以降の事業計画	担当課
7-1-1	希少野生動物の保護・管理	・希少野生動植物の保護・管理を推進します。	林業振興課
7-1-2	生態系に配慮した公共事業の実施	・生態系に配慮した公共設備の整備に努めると共に、工事に関しても環境に配慮した事業を行います。	公共事業実施課
7-1-3	生物多様性の意識啓発活動	・市民や事業者野生生物の多様性とその意義について意識啓発を行います。	林業振興課

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
7-1-1	希少野生動物の保護・管理	・鳥獣保護区等の指定により希少野生動物の保護、管理を推進しました。	林業振興課
7-1-2	生態系に配慮した公共事業の実施	・ISO14001 に基づく「公共工事環境配慮手順書」に基づき、生態系等環境に配慮した公共工事を実施しました。	公共事業実施課
7-1-3	生物多様性の意識啓発活動	・有線放送などにより、生物の多様性について啓発しました。	林業振興課

∞∞《 参考事項等 》∞∞

参 考 内 容	平成 16 年度 (合併後)	平成 17 年度	平成 18 年度
○鳥獣保護区	10 箇所	11 箇所	10 箇所
○銃猟禁止区域	17 箇所	13 箇所	15 箇所
○休猟区	7 箇所	7 箇所	7 箇所
○天然記念物	66 件	66 件	69 件

※天然記念物・・・「個別目標 11-1」参考事項等と重複

「ふるさとのいきものの里 100 選」（環境省平成元年選定）

選定場所	場所	説 明
堀田川のホタル	蛭 川	保全対象はゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタル。地区ではホタルを保護・育成するために、青少年育成推進委員会、社会教育推進委員が中心になって保全活動を行っている。

中津川市の天然記念物（国・県指定のもののみを抜粋） 16 件

名 称	指定	種類	所在地区	指定年月日
坂本のハナノキ自生地	国	植物	坂本	大正 9 年 7 月 17 日
ヒトツバタゴ自生地	国	植物	蛭川	大正 12 年 3 月 7 日
加子母のスギ	国	植物	加子母	大正 13 年 12 月 9 日
垂洞のシダレモミ	国	植物	付知	昭和 12 年 12 月 21 日
しだれガキ	県	植物	蛭川	昭和 31 年 7 月 12 日
自生のヒトツバタゴ	県	植物	苗木	昭和 33 年 12 月 14 日
大実カヤの木	県	植物	苗木	昭和 33 年 12 月 14 日
紅岩	県	地質鉱物	蛭川	昭和 37 年 7 月 12 日
磯前神社のスギ	県	植物	坂下	昭和 40 年 9 月 7 日
恵那神社の夫婦スギ	県	植物	中津川	昭和 41 年 9 月 14 日
長楽寺のイチョウ	県	植物	阿木	昭和 42 年 2 月 14 日
瀬戸のカヤ	県	植物	苗木	昭和 44 年 8 月 5 日
新茶屋の自生ヒトツバタゴ	県	植物	落合	昭和 44 年 8 月 5 日
ハナノキ自生地	県	植物	蛭川	昭和 47 年 3 月 1 日
坂下のモミラン	県	植物	坂下	昭和 47 年 12 月 13 日
坂下のハナノキ群生地	県	植物	坂下	昭和 47 年 12 月 13 日

基本目標 8 : 水環境を守ろう

(16) 個別目標 8-1 : 水を大切にしよう

(17) 個別目標 8-2 : 水を取り巻く環境を守ろう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容		平成 18 年度以降の事業計画	担当課
8-2-1	河川改修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の排水能力等機能を回復させ、浸水等の災害を防止します。 ・河川改修工事では、環境に配慮した工事を実施します。 	建設課
8-2-2	河川排水路補修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・河川及び排水路の損傷か所について補修を行い、機能の回復を図ります。 	建設課

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
8-2-1	河川改修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・河川改修事業は当該年度で完了した工事が 2 か所、次年度への継続が 1 か所となっています。 	建設課
8-2-2	河川排水路補修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・河川、排水路の維持工事は当該年度に完了した工事が 5 7 か所となっています。 ・排水路の整備は、当該年度で完了した工事が 3 か所、次年度への継続が 2 か所となっています。 ・河川の災害復旧については 2 か所の工事を実施し、すべて完了しています。 	建設課

∞∞《 参考事項等 》∞∞

参 考 内 容	平成 16 年度 (合併後)	平成 17 年度	平成 18 年度
○1 世帯あたりの平均水道使用量	2 8 m ³ /月	3 1 . 2 m ³ /月	3 1 . 7 m ³ /月

基本目標 9：自然とふれあおう

(18) 個別目標 9-1：自然とふれあう機会をつくろう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容		平成 18 年度以降の事業計画	担当課
9-1-1	「花のまち中津川」各地区花飾り助成事業	・地域の環境美化及び緑化の推進のため、花の植栽等を実施する団体に交付金を支給します。	農業振興課
9-1-2	夜明けの森フィールドアスレチック改修工事	・林業振興施設である「夜明けの森フィールドアスレチック」を改修することにより、市民の活動の場を確保・提供します。	林業振興課
9-1-3	教室事業 「夜明けの森こもり山プロジェクト」	・親子、小学生以上の参加者により、特定区域内の里山を活用して、森の手入れ、自然観察、自然の利活用を体験出来るよう事業を実施します。	鉱物博物館
9-1-4	教室事業 「自然観察会」	・親子、小学生以上の参加者が、自然とふれあう中で自然観察、自然の利活用などを体験出来る事業を実施します。	鉱物博物館
9-1-5	体験学習	・各小中学校独自に体験会（キャンプ等）などを実施します。	学校教育課
9-1-6	親子 1 日教室「ネイチャーゲーム」	・自然豊かな苗木に住んでいるという利点を活かし、苗木の様々な場所で自然と触れ合ってもらうために「ネイチャーゲーム」を実施します。	苗木コミュニティセンター
9-1-7	花のまち苗木づくり	・国道 257 号苗木交差点の花壇の植栽管理を中心に苗木地域にボランティアによる花飾りを伝播します。	苗木コミュニティセンター

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
9-1-1	「花のまち中津川」各地区花飾り助成事業	・道路または公共用地に隣接する場所において植栽事業を行い、当該場所を維持管理できる団体に、花の植栽事業に要した花種子、苗、肥料及び土の費用を平成 18 年度は 31 団体に助成しました。	農業振興課
9-1-2	夜明けの森フィールドアスレチック改修工事	・老朽化したアスレチックを改修しました。	林業振興課
9-1-3	教室事業「夜明けの森こもり山プロジェクト」	・年 4 回、春夏秋冬の季節ごとにテーマを設定し、夜明けの森をとおして、自然を体験する事業を親子の参加を得て実施しました。（延べ 88 名参加）	鉱物博物館
9-1-4	教室事業 「自然観察会」	・「草花観察会(2 回)」、「活断層を見て歩く会」、「土の中の虫を見る会」を実施し、夜明けの森周辺の自然をとおして、五感で感じることで出来る自然を体験しました。（延べ 15 名参加）	鉱物博物館
9-1-5	体験学習	・小学校 17 校、中学校 8 校でキャンプや登山など自然体験活動を実施した。土岐少年自然の家での宿泊キャンプ、海での海浜体験などを通して、自然を守るなかで自分たちの生活を成り立たせていくことの大切さを学習した。また、仲間との協力の大切さを身につけました。	学校教育課

9-1-6	親子1日教室「ネイチャーゲーム」	・5月13日(土)に夜明けの森で実施。周辺を散策し、道端で摘んだヨモギで団子作りをしました。(子ども16名、大人4名参加)	苗木 コミュニティセンター
9-1-7	ボランティアによる花のまちづくり	・「ボランティア苗木花の会」を中心にして、国道257号苗木交差点の花壇の植栽管理や、苗木地域住民による花飾り活動の普及、啓発を行いました。 ・県の花のアドバイザーによる花作り講習会を2回開催。	苗木 コミュニティセンター

《《《 数値目標等 》》》

環境指標	計画基準年 (平成16年度)	実績 (平成18年度)	計画 (平成19年度)	数値目標等 (平成27年度)
○体験会(キャンプ等)実施校数	15校	25校	25校	19校
○市民1人当たりの都市公園等面積	8.86㎡/人	8.94㎡/人	9.25㎡/人	9.29㎡/人
○都市公園等数	27か所	27か所	27か所	28か所 (累計)
○親水公園	8か所	8か所	8か所	8か所 (累計)

基本目標10：農地を保全し、多面的機能を確保しよう

(19) 個別目標10-1：農地を守ろう

(20) 個別目標10-2：農地の多様な働きをいかそう

《平成18年度以降の事業計画》

事業内容		平成18年度以降の事業計画	担当課
10-2-1	大牧コスモスまつりの開催	・苗木大牧地区での「大牧コスモスまつり」を実施し、作付け面積も拡大します。また、コスモスの茎は有機肥料として米作りに利用します。	農業振興課
10-2-2	阿木シクラメン・そば祭りの開催	・地元特産品のシクラメンやそばを利用したイベントを実施し、地域の活性化や地元農産物の普及を図ります。	農業振興課
10-2-3	地産地消推進事業	・地産地消を推進するため、農産物・農産加工品の販売を行う朝市の開催や、各団体が積極的にイベントへ参加して販路を開拓することができるよう参加経費の一部に対して助成を行う。また、学校給食への地元産野菜の供給を推進します。	農業振興課
10-2-4	環境保全型農業推進事業	・環境への配慮を商品付加価値とした環境保全型農業への取り組みを進めます。	農業振興課
10-2-5	農業経営基盤強化促進事業	・農用地利用権設定により農地集積を行った農地所有者及び担い手に奨励金を交付することで、担い手への集積を促進します。	農業振興課

10-2-6	農業振興地域整備 管理事業	・効率的な農地集積や農作業の組織化・共同化のために農業の振興を行う地域での農業の健全な発展のため、農用地区域の保全を図ります。	農業振興課
10-2-7	学校農園交流事業	・情操教育、食農教育の一環として、豊かな人づくり、地域づくりを進めるとともに、農業体験や人との交流を通して、農業、農村への理解を深め、担い手としての職業観を醸成します。 ・遊休農地を学校農園として利活用することで、農地の有効活用を図ります。	農業振興課
10-2-8	ぎふクリーン農業 推進事業	・岐阜県で推進している「ぎふクリーン農業」への登録数の増加及び、登録作物の生産の向上を行うため、機械・施設の導入に対して助成を行います。 (ぎふクリーン農業とは、従来の栽培より化学合成農薬及び化学肥料の使用量を30%以上削減させた栽培方法のこと)	農業振興課

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
10-2-1	大牧コスモスまつり の開催	・景観作物の作付けにより、地域の景観の確保とともに、老人会・保育園児等が播種・種取等の作業に加わり、地域のコミュニケーションの場となっています。地域内農産物の普及促進のため、コスモスまつりに使用する食材を支援しました。平成 18 年度は 450 人が参加。(花見会、写真コンクール、苗木太鼓等アトラクション、五平餅、野菜等の販売、餅つき体験と試食会、かかしの製作)	農業振興課
10-2-2	阿木シクラメン・ そば祭りの開催	・平成 18 年 12 月 10 日に中の島ふれあいセンターにて開催し、約 2,000 人が来場しました。 ・阿木地区における 4 つの集落営農組織が 27ha の農地にそばを栽培し、農地の保全と地産地消を推進しました。	農業振興課
10-2-3	地産地消推進事業	・各団体が市内外で行われる各種イベントへ積極的に参加できるよう、参加経費の一部に対し助成を行いました。また、学校給食での県内産、市内産農産物の使用に対して助成を行いました。	農業振興課
10-2-4	環境保全型農業推 進事業	・性フェロモン剤導入による減農薬防除取り組みに対する補助を実施し、1 件交付しました。	農業振興課
10-2-5	農業経営基盤強化 促進事業	・当該年度中(1月～12月)に農地の貸借をした場合、3年以上の契約に限り、農地の所有者及び耕作者に対し一定の単価に基づき奨励金を交付しました。 ・耕作者が担い手(認定農業者または元気なやる気農業者)の場合、単価の上積みがある。⇒実績数値(64件、13,7ha)	農業振興課
10-2-6	農業振興地域整備 管理事業	・転用を目的とした農用地からの計画ある除外案件については農業経営者の利便を図りました。 ・基礎調査を行い、自然社会的経済条件及び市の開発計画、土地利用等を考慮し、土地の合理的利用の見地から農業上の利用と他の利用との調整を図りました。	農業振興課
10-2-7	学校農園交流事業	東小学校、付知中学校において実施しました。東小学校では、遊休農地を農業委員さん方によって復田し学校農園とした。	農業振興課

10-2-8	ぎふクリーン農業 推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ぎふクリーン農業の登録及びクリーン農産物の生産性向上のための以下の機械導入に対し助成を行いました。 助成対象＝トマト関連施設（雨よけハウス、葉面散布機、作業台車、灌水施設）、側条施肥田植機、自脱型コンバイン、自走式マニユアスプレッダ、栗樹園地新改植 	農業振興課
--------	------------------	---	-------

《《《 数値目標等 》》》

環 境 指 標	計画基準年 (平成 16 年度)	実 績 (平成 18 年度)	計 画 (平成 19 年度)	数値目標等 (平成 27 年度)
○農用地面積（農振農用地域）	4,196 ha	4,190 ha	3,933 ha	4,000 ha
○学校農園数（借地含む）	12 校	26 校	27 校	20 校
○環境保全型農業に取り組む農家数	27 戸	124 戸	117 戸	120 戸

基本目標 11：歴史的資源と文化遺産を保全し、今の生活に活用しよう

(21) 個別目標 11-1：歴史的まちなみを保ちいかそう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容		平成 18 年度以降の事業計画	担当課
11-1-1	指定文化財保存整備事業	・文化・歴史資源の保全とともに、観光資源として活用します。	文化振興課
11-1-2	中山道歴史資料館運営事業	・宿場町という周囲の雰囲気을考慮しながら、歴史資源の保全とそれを公開することで活用を図ります。	文化振興課
11-1-3	歴史の道活用「中山道ウォーキング」整備	・中山道の説明板等の建替え等維持管理を行うとともに、環境に配慮した整備を行います。	文化振興課
11-1-4	歴史案内ボランティア講座	・講座受講生が講座終了後案内ボランティアとして、まちなみの案内ボランティアを実施できるよう進めます。 ・講座は自主運営を心がけ、世話役等自分達で運営していく体制づくりを行います。	中央公民館
11-1-5	岐阜県文楽・能大会 2007 in なかつがわ	・恵那文楽保存会が中心となり、実行委員会を組織し、大会の開催を目指します。（平成 19 年度開催） ・事業費の一部を市の交付金として支出し、保存会が主体となるような運営支援を行います。	文化振興課

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
11-1-1	指定文化財保存整備事業	・文化財の上位指定（県指定）1 件、新たに市文化財として 4 件指定した。	文化振興課
11-1-2	中山道歴史資料館運営事業	・資料館に隣接する曾我家は市の建造物に指定され、毎月第 3 日曜日が公開日となっている。公開に当たっての補助業務にあたる。 ・企画展を 2 回実施。	文化振興課
11-1-3	歴史の道活用（中山道ウォーキング）整備	・中山道での説明板、標識等は定期的に補足、建替えを実施しました。	文化振興課
11-1-4	歴史案内ボランティア講座	・6 月から 2 月まで、月 1 回の講座を開講し、中山道の宿場町であった中津川の歴史や史跡並びに合併した山口村の馬籠宿、島崎藤村等に関する歴史を学び、学んだ成果を中津川市を訪問した 8 グループ約 230 人に歴史案内ボランティアガイドとして活かしました。 ・講座受講生 33 人が世話役、当番等を決め自主運営をしています。	中央公民館
11-1-5	岐阜県文楽・能大会 2007 in なかつがわ	・平成 19 年度開催を目指し、恵那文楽保存会と市が大会運営内容について協議を行いました。	文化振興課

∞∞◀ 参考事項等 ▶∞∞

参 考 内 容	平成 16 年度 (合併後)	平成 17 年度	平成 18 年度
○指定文化財件数	284件	285件	289件
・有形文化財	115件	115件	115件
・無形文化財	1件	1件	1件
・有形民俗文化財	16件	16件	17件
・無形民俗文化財	4件	5件	5件
・史跡	77件	77件	77件
・名勝	5件	5件	5件
・天然記念物	66件	66件	69件
○埋蔵文化財包蔵地数	500か所	500か所	500か所

(22) 個別目標 11-2 : 魅力ある都市景観をつくろう

◀平成 18 年度以降の事業計画▶

事業内容		平成 18 年度以降の事業計画	担当課
11-2-1	中津川らしい景観づくり計画策定	・平成 19 年 7 月に中津川市景観計画の告示及び景観条例の施行を行い、中津川市の特性である良好な自然環境や歴史・文化を活かした景観づくりを目指した制度の運用を開始します。	都市整備課

○○ 平成 18 年度の実施状況 ○○

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
11-2-1	中津川らしい景観づくり計画策定	・地区懇話会、説明会及びパブリックコメント等を経て、景観計画策定委員会において中津川市景観計画（案）を作成し、市長に対して答申を行いました。	都市整備課

基本目標 12：みんなで環境について学ぼう

(23) 個別目標 12-1：環境教育・学習の機会をつくろう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容		平成 18 年度以降の事業計画	担当課
12-1-1	環境学習事業	・環境センターでの環境学習を、小学校 4 年生を対象として実施します。	学校教育課
12-1-2	夢と創造力を育む総合的学習の推進事業	・地域の特色を生かし、地域に根ざす個性的な教育を推進するため、各学校の独自性を打ち出した環境学習を実施します。	学校教育課 市内小中学校
12-1-3	カワゲラウォッチングの実施	・自分たちの生活する地域の河川を、そこに住む水生昆虫等を指標にして自分たちの生活が河川にどのように影響を及ぼしているかを知ってもらうために「カワゲラウォッチング」を実施します。	環境課 坂本コミュニティセンター 苗木コミュニティセンター
12-1-4	中津川市生活学校	・「食の安全」に関わる学習に取組み、地域に広げていく。 ・健康福祉まつり、環境フェスティバルに取り組む。	生涯学習課
12-1-5	こどもエコクラブ活動の推進	・市内各小学校に依頼し、こどもエコクラブの結成を推進します。	環境課

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
12-1-1	環境学習事業	・市内小学校（12 校）が環境センターの見学を実施した。捨てられたごみに種類と量の多さを目の当たりにし、物を大切にすることの重要性を学びました。	学校教育課
12-1-2	夢と創造力を育む総合的学習の推進事業	・各学校において、総合的な学習の時間を中心に環境に関する学習を行った。地域の環境だけでなく、学年が進むにつれて世界の中の日本、世界全体のあり方といった広い視野での学習も行われました。 ・市内各小中学校において、自然の家宿泊体験やゴミの分別教室、下水処理施設の見学等、直接環境にかかわった仕事や授業を体験することで、興味関心を深めました。	学校教育課 市内小中学校
12-1-3	カワゲラウォッチングの実施	・平成 18 年度は 5 回開催。参加者 116 人に対し水環境の大切さと生活排水対策を啓発しました。 ・学校の総合学習での開催（3 回） ・公民館教室での開催（2 回）	環境課 坂本コミュニティセンター 苗木コミュニティセンター
12-1-4	中津川市生活学校	・食育に関する岐阜県生活学校統一調査「高校生の朝食摂取状況」を市内 2 高校で実施。結果をアンケートにまとめ、東濃地区生活学校研究交流集会で発表、交流。 ・市環境フェスティバルで、上記結果を発表。 ・県出前講座「食の安全」（県）を 2 回実施。他	生涯学習課
12-1-5	こどもエコクラブ活動の推進	・市内全小中学校へこどもエコクラブの会員募集を実施 ・8 クラブ結成（小学校 7 クラブ、その他 1 クラブ）。 ・なかつがわこどもエコクラブを結成し、年 6 回実施	環境課

《《《 数値目標等 》》》

環境指標	計画基準年 (平成16年度)	実績 (平成18年度)	計画 (平成19年度)	数値目標等 (平成27年度)
○小中学校の環境学習取組み校数	34校	31校	31校	31校
○環境センターの見学	20校	12校	19校	19校
○こどもエコクラブ	3クラブ	8クラブ	6クラブ	活動の推進

(24) 個別目標 12-2 : 環境保全の意識を高めよう

《平成18年度以降の事業計画》

事業内容	平成18年度以降の事業計画	担当課
12-2-1 環境保全活動の啓発(広報に掲載)	・環境基本計画の市民の環境配慮事項等について、「広報なかつがわ」に掲載します。	環境課
12-2-2 環境フェスタ中津川の開催	・実行委員会形式により、環境フェスタ中津川を開催し、環境保全の意識啓発をします。	環境課

○平成18年度の実施状況 ○

事業内容	平成18年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
12-2-1 環境保全活動の啓発(広報に掲載)	・全市環境ISO運動について「広報なかつがわ」紙面で掲載しました。	環境課
12-2-2 環境フェスタ中津川の開催	・「第4回環境フェスタ中津川」を中津川市環境センターにて開催しました。(10/21)詳細は下記のとおりです。	環境課

第4回環境フェスタ中津川の概要

開催日時：平成18年10月21日(土) 午前9時～午後3時

開催場所：中津川市環境センター

主催：第4回環境フェスタ中津川実行委員会(共催：中津川市、後援：岐阜県)

テーマ：「自然との共生」 サブテーマ：「～環境について学び考え身近なところから行動しよう～」

実行委員：12団体(13名)で構成

委員長 西尾良司氏(中津川市ごみ減量推進市民会議会長)(中津川市広報会連合会副会長)

副委員長 前川 登氏(三菱電機株式会社中津川制作所)

委員 恵那山ネイチャーゲームの会・NPO法人恵那山みどりの会・住みよい環境づくり推進員・中津川市立PTA連合会・中津川市公立幼稚園連合PTA・中津川自然エネルギーの会・中津川市保育園保護者会連合会・山里文化研究所・富士通テン株式会社中津川工場・市内小中学校教諭代表

参加団体：民間23団体、企業等6事業所、その他(飲食等)7団体、行政22機関

小中高等学校18校、幼保31園 合計107団体 ※出展以外で協力いただいた団体も含む

恵那漁業協同組合・岐阜県地球温暖化防止推進センター・中津川センターロータリークラブ・中津川市環境推進協会・中津川生活学校・東濃銃医師会・NPO法人中津川市民エコネット・千旦林の自然を守る会・中津川してこぶしの会・中津川ホテルの会・野草散策の会・中津川めだか保存会・鉱物博物館・ボランティア「しゃぼん」・東濃地区販穴研究会・三菱電機(株)・(有)東海バイオ・カネ九商事(株)・セントラル建設(株)・カトウ工芸・飛翔の里生活の家・アグリウーマン中津川・(株)星ヶ見(星ヶ見荘)・(株)クオリティー・ファーム中津川(ふれあい牧場)・中津川市栗振興会・安江農産・市内9小学校(南・東・西・苗木・坂本・神坂・加子母・付知南・田瀬)・市内8中学校(第一・第二・坂本・落合・坂下・付知・福岡)・中津川工業高等学校・市内全幼稚園・保育園(5歳児対象)・岐阜県(東濃振興局恵那事務所環境課)・中津川市(農林局3課・下水道課・観光課・ごみ減量推進室・環境課・その他生活環境部7課・7各総合事務所)

来場者数：約2,500人

基本目標 13：みんなで環境を守る行動をしよう

(25) 個別目標 13-1：環境保全活動を進めよう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容	平成 18 年度以降の事業計画	担当課
13-1-1 クリーンキャンペーンの実施	・市内地区ごとにごみ拾いや河川清掃、草刈り等の環境保全活動を実施します。	ごみ減量推進室

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容	平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
13-1-1 クリーンキャンペーンの実施	・6月と9月に市内一斉清掃を実施しました。地区毎にごみ拾いや河川清掃、草刈等環境保全活動を実施しました。	ごみ減量推進室

∞∞《 参考事項等 》∞∞

参 考 内 容	平成 16 年度 (合併後)	平成 17 年度	平成 18 年度
〇市内一斉清掃	2回/年	2回/年	2回/年

(26) 個別目標 13-2：環境ネットワークをつくろう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容	平成 18 年度以降の事業計画	担当課
13-2-1 住みよい環境づくり推進員活動の推進	・住みよい環境づくり推進員の活動を支援し、市民の環境ネットワークを推進します。	ごみ減量推進室
13-2-2 中津川市環境推進協会事業との連携	・中津川市環境推進協会の活動を支援し、事業者の環境ネットワークを推進します。	環境課
13-2-3 環境関連市民団体等との連携	・環境に係るNPOや市民団体等との連携を図り、環境ネットワークを推進します。	環境課

(※) 中津川市環境推進協会について

- ・ 中津川市環境推進協会とは、昭和 46 年に中津川の水質浄化を目的に「中津川市公害防止協会」として設立された民間団体です。
- ・ 平成 17～18 年度は三菱電機㈱中津川製作所が会長事業所に就任しており、平成 19 年 3 月現在の会員数は 126 事業所です。
- ・ なお、平成 10 年度から中津川市環境担当課がその事務局を務めています。

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
13-2-1	住みよい環境づくり推進員活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・住みよい環境づくり推進員ブロック会議を開催。 ・推進員に各種イベント及び啓発活動の協力要請。 	ごみ減量推進室
13-2-2	中津川市環境推進協会事業との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・環境推進協会の各事業を市も連携し実施しました。 ・恵那漁協主催の四ツ目川アマゴ放流事業へ賛助(7/13) ・三菱電機(株)中津川製作所及び同飯田工場を視察(11/29) ・地球温暖化をテーマに環境講演会を開催(3/22) 	環境課
13-2-3	環境関連市民団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・環境フェスタ中津川で、環境関連市民団体に実行委員として参加いただき、フェスタを盛大に開催することができました。 	環境課

基本目標 14：地球環境について学び、考え、身近なところから行動しよう

(27) 個別目標 14-1：地球環境問題への理解を深め、そして行動しよう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容		平成 18 年度以降の事業計画	担当課
14-1-1	地球温暖化防止実行計画の策定及び実行	・中津川市も一事業者として、市役所全体のCO2排出量を平成 22 年までに対 16 年比 12%削減します。	環境課
14-1-2	地球環境問題に係る意識啓発	・市民や事業者に対して、地球環境問題に関する情報等を発信し、意識啓発を図ります。	環境課

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
14-1-1	地球温暖化防止実行計画の策定及び実行	・第 4 次地球温暖化防止実行計画に基き、市役所全庁舎における省資源・省エネルギー活動を推進しました。	環境課
14-1-2	地球環境問題に係る意識啓発	・「広報なかつがわ」にて、全市環境 ISO 運動とあわせて、大気汚染の仕組みなど地球環境問題に係る記事を掲載し、広く啓発しました。	環境課

(28) 個別目標 14-2：地球環境保全対策を進めよう

《平成 18 年度以降の事業計画》

事業内容		平成 18 年度以降の事業計画	担当課
14-2-1	環境家計簿の啓発	・環境家計簿を啓発します。	環境課
14-2-2	環境マネジメントシステム構築支援事業	・事業者の環境マネジメントシステム構築を支援します。	環境課
14-2-3	市役所職員のノーカーデーの推進	・地球環境保全対策の一環として、市の職員自らがノーカーデーを実施し、地球環境保全対策の意識啓発を実施します。	全課

〇〇 平成 18 年度の実施状況 〇〇

事業内容		平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
14-2-1	環境家計簿の啓発	・環境家計簿を中津川市公式ホームページに掲載し、広く啓発を実施しています。 ・第 4 回環境フェスタ中津川にて環境家計簿を紹介、家計簿の配布を実施しました。	環境課
14-2-2	環境マネジメントシステム構築支援事業	・ISO14001 の認証取得に係る市内事業者からの相談に答え、情報提供等支援をしました。	環境課

14-2-3	市役所職員のノーカーデーの推進	・マイカーによる通勤を自粛し、徒歩や公共交通機関の利用を図ることで地球温暖化の意識啓発を目的とした市職員ノーカーデーを5回実施しました。(4/27・5/15・6/28・11/16・3/22)	全課
--------	-----------------	---	----

∞∞◀ 参考事項等 ▶∞∞

参 考 内 容	平成 16 年度 (合併後)	平成 17 年度	平成 18 年度
○環境家計簿	ホームページに掲載	ホームページに掲載 環境フェスタで紹介	ホームページに掲載 環境フェスタで紹介
○市内の ISO14001 認証取得事業所数 (市が確認できたもののみ)	4 5 事業所 (累計)	4 9 事業所 (累計)	5 2 事業所 (累計)

(29) 個別目標 14-3 : 国際的な環境保全に協力しよう

◀平成 18 年度以降の事業計画▶

事業内容	平成 18 年度以降の事業計画	担当課
14-3-1 国際的な環境保全に関する交流・協力の推進	・環境分野での国際協力・活動を行う個人や団体を支援します。 ・環境保全に関する国際交流や国際協力に努めます。	環境課 他

○○平成 18 年度の実施状況 ○○

事業内容	平成 18 年度の上記事業計画に対する実施状況	担当課
14-3-1 国際的な環境保全に関する交流・協力の推進	・国で推進しているチーム・マイナス6%に参加し、地球温暖化防止やクールビズ等を「広報なかつがわ」で呼びかけました。	環境課 他

∞∞◀ 参考事項等 ▶∞∞

参 考 内 容	平成 16 年度 (合併後)	平成 17 年度	平成 18 年度
○環境分野も視野に入れた国際交流	1 回/年	1 回/年	1 回/年

※ 市内の中学生及び市民スタッフを海外へ派遣し、現地での研修及び交流を実施する。